

パパ・ママ子育て知恵袋

第35回は「それってほめ言葉？」

営業の仕事をしているパパ。新規の契約が取れました。
部長さんから、おほめの言葉。

「〇〇さんもやればできるじゃないですか。先ほど同僚のAさんがもっと大口の契約を取りました。負けずにがんばってください。期待しています」
パパの気分はモヤモヤ……。

保険の外交をしているママ。なかなか成果が出ません。
係長さんからの言葉。

「〇〇さん、いつも外回りがんばってくれて、ありがとう。仕事は結果を出さないといけなけれども、そうそう簡単にはいきません。でも、〇〇さんのがんばりは必ず実を結びます。体調には気をつけて」
ママは泣きそうになりました。（よし、明日もがんばろう）と思いました。

パパの部長さんも、ママの係長さんも部下をほめようとしていますが、効果は真逆です。どこが違うか。
部長さんは「結果」重視。係長さんは「プロセス」重視。

ごはんのときに「ほら、姿勢が悪いよ。お背中ピン！」と注意したとします。
子供は背筋を伸ばして食事をし始めました。でも5分後には、また背中が丸まってしまいました。「ほら！背中！」と再び注意。結局、食事が終わるまで5、6回はお小言を言うことに。せっかくの食事でも暗いムードになりました。

はじめに背筋を伸ばしたときに「おっ、いいね。かっこいいね」とほめればいいのです。その後、また丸まったら「背中」と言って、子供が姿勢を整えたら「いいね、いいね、やっぱりかっこいい」とほめる。これを繰り返す。

お小言とほめ言葉をセットにするのです。

ほめるだけでは子供は育ちません。そして、ただやたらとほめるだけでも育ちません。効果のあるほめ方をしなければ、大人だって子供だって動いてはくれません。